

創世記の時代はまだ聖書もなく、律法も与えられていませんでした。

神様は選ばれた人々に、夢や幻、時には遣わされた天使によってご自分がどのような思いを持っておられるのか、人間に何を求めておられるのかを教えられました。

生まれつき自己中心のヤコブでしたが、神様はその彼を選び、愛されました。

彼の人生を通して、信仰をもって、ご自分に近づく者に神がおられることと、神に求める者に必ず報いて下さる方であることを現されたのです。

今日の学びの要点

- ・ 神様の約束は、アブラハムの孫ヤコブにも与えられました。

神様は生まれる前からヤコブを選んでおられ、彼にとって最悪な時に、孤独な寂しい心に寄り添い、信じることができるように導かれます。

さらに、その者を用いて、神様のご計画を実現される方です。

I、旅に出たヤコブ

1、 イサクの息子ヤコブはどのような人でしたか。

- ① 生まれるとき、どのような様子でしたか。（創世記 25:24～26）
- ② ヤコブは何が欲しいと思っていたのでしょうか？（創世記 25:29～34）

2、 どうしてヤコブは旅に出る事になったのでしょうか。

- ・ 父イサクを騙し、兄と偽って神様の祝福を奪い取った。（創世記 27:6～29）
- ・ 兄のエサウに憎まれた。（創世記 27:31～41）
- ・ 母リベカの勧めで叔父の元へ行く事になった。（創世記 27:42～45）

Ⅱ、ヤコブが見た夢

1、何もないヤコブは石を枕にして野宿するしかありませんでした。

ヤコブはどのような気持ちだったのでしょうか。（創世記 28:11）

2、神様は最初に彼に夢を見せられました。

①ヤコブが夢で見た、その梯子はどのような梯子でしたか。（創世記 28:12）

② 夢の中の幻の後、主が語られたのは、どのようなことでしょうか。

（創世記 28:13）

・この地を与える

・子孫のこと

・ヤコブの守り ・この地に戻す ・決して捨てない

3、新約の光でみると、どのような意味があるのでしょうか。

①ヨハネ 1:51…「天からの梯子」主イエスは天から来られた方であり、梯子も天から地へと向かっている

②ヨハネ 10:9…「天の門」 私たちは主イエスを通してしか、父のみもとに行く事ができない。

③ I テモテ 3:15…「神の家」 生ける神の教会